

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GS債券戦略ファンド」は、このたび、Aコース／Bコースにつきましても、第118期～第123期の決算、Cコース／Dコースにつきましても、第21期の決算を行いました。本ファンドは、日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、市場環境に応じて機動的に資産配分を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース	第123期末 (2024年1月23日)	第118期～第123期
	基準価額	騰落率
	純資産総額	分配金合計
Bコース	第123期末 (2024年1月23日)	第118期～第123期
	基準価額	騰落率
	純資産総額	分配金合計
Cコース	第21期末 (2024年1月23日)	第21期
	基準価額	騰落率
	純資産総額	分配金合計
Dコース	第21期末 (2024年1月23日)	第21期
	基準価額	騰落率
	純資産総額	分配金合計

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GS債券戦略ファンド

愛称：ザ・ボンド

- Aコース (毎月決算型、為替ヘッジあり)
- Bコース (毎月決算型、為替ヘッジなし)
- Cコース (年2回決算型、為替ヘッジあり)
- Dコース (年2回決算型、為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

Aコース／Bコース	第118期 (決算日2023年8月23日)
	第119期 (決算日2023年9月25日)
	第120期 (決算日2023年10月23日)
	第121期 (決算日2023年11月24日)
	第122期 (決算日2023年12月25日)
第123期 (決算日2024年1月23日)	
Cコース／Dコース	第21期 (決算日2024年1月23日)
作成対象期間：2023年7月25日～2024年1月23日	

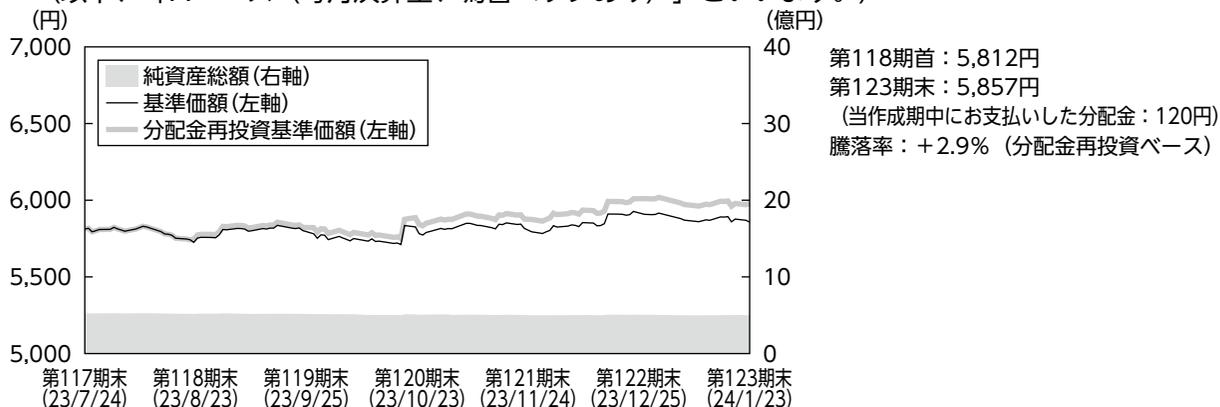
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000 (代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

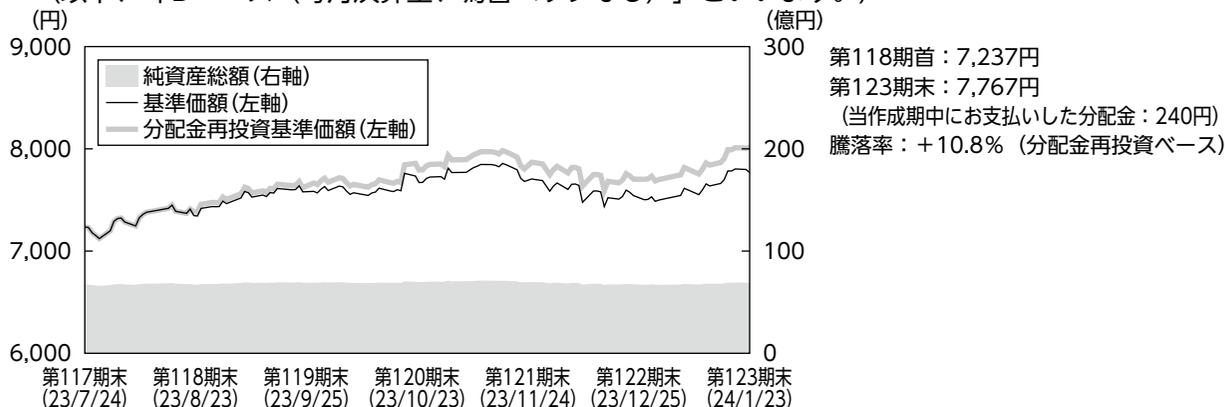
運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年7月25日～2024年1月23日）

○G S 債券戦略ファンド Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）
（以下、「Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）」といいます。）



○G S 債券戦略ファンド Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）
（以下、「Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）」といいます。）



（注1）Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびBコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

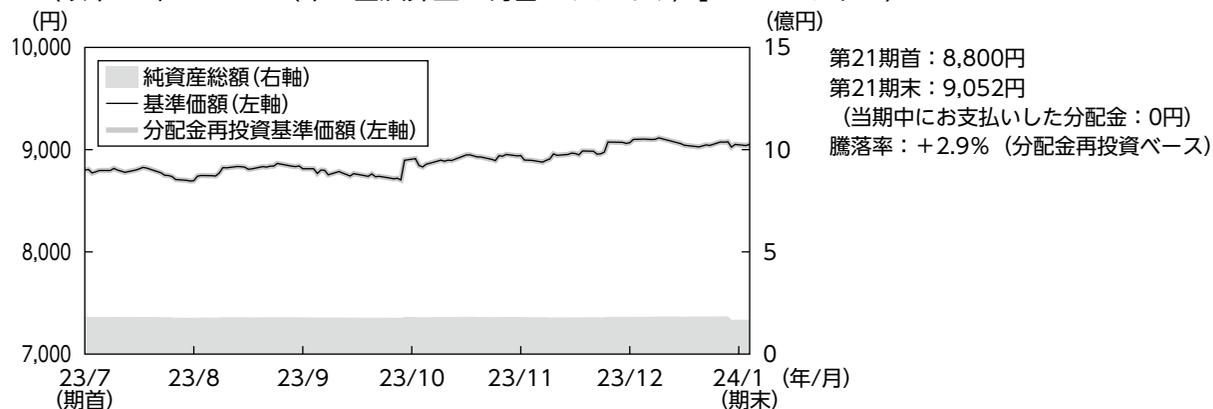
（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

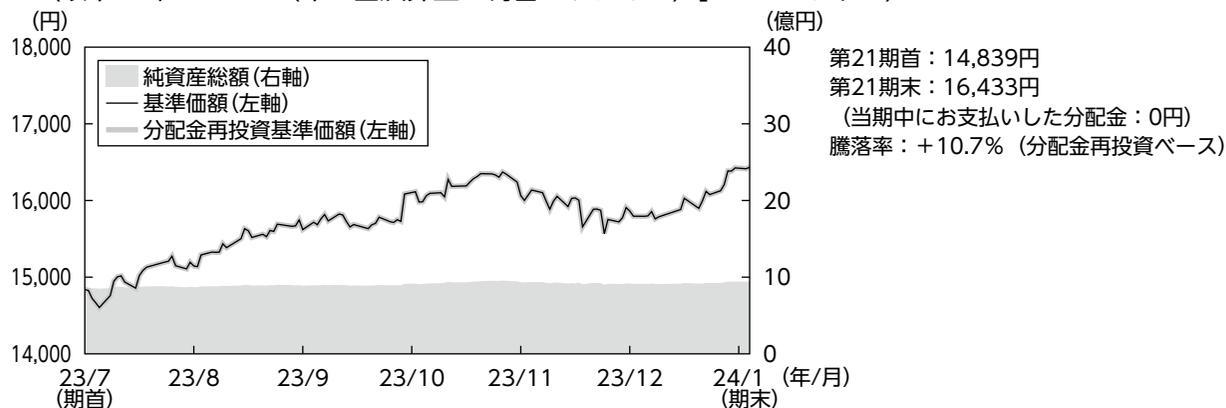
（注4）分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

（注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○GS債券戦略ファンド Cコース (年2回決算型、為替ヘッジあり)
(以下、「Cコース (年2回決算型、為替ヘッジあり)」といたします。)



○GS債券戦略ファンド Dコース (年2回決算型、為替ヘッジなし)
(以下、「Dコース (年2回決算型、為替ヘッジなし)」といたします。)



(注1) Cコース (年2回決算型、為替ヘッジあり) およびDコース (年2回決算型、為替ヘッジなし) の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の5,812円から45円上昇し、期末には5,857円となりました。
 - Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の7,237円から530円上昇し、期末には7,767円となりました。
 - Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の8,800円から252円上昇し、期末には9,052円となりました。
 - Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の14,839円から1,594円上昇し、期末には16,433円となりました。
- （以下、4ファンドを総称して本ファンドといいます。）

上昇要因

国債／金利スワップ戦略の個別銘柄選択やセクター配分戦略、国別配分戦略がプラス寄与となったことなどが基準価額の上昇要因となりました。Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）、Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）においては円安・米ドル高が進行したことも基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

コーポレート・クレジット戦略における個別銘柄選択がマイナス寄与となったことなどが基準価額の下落要因となりました。Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）、Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）においては分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

項目	第118期～第123期 2023年7月25日～2024年1月23日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	49円 (24)	0.839% (0.413)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(24)	(0.412)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	2 (0)	0.028 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.019)	
(その他)	(0)	(0.007)	
合計	51	0.867	

期中の平均基準価額は5,820円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

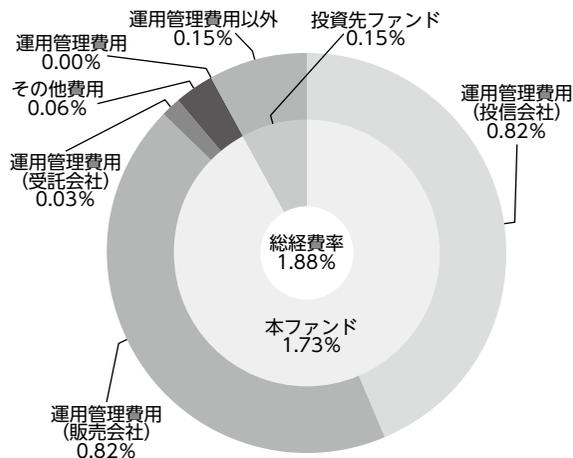
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①本ファンドの費用の比率	1.73%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

項目	第118期～第123期 2023年7月25日～2024年1月23日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	63円 (31)	0.839% (0.413)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(31)	(0.413)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	2 (0)	0.020 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(1)	(0.019)	
合計	65	0.859	

期中の平均基準価額は7,519円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

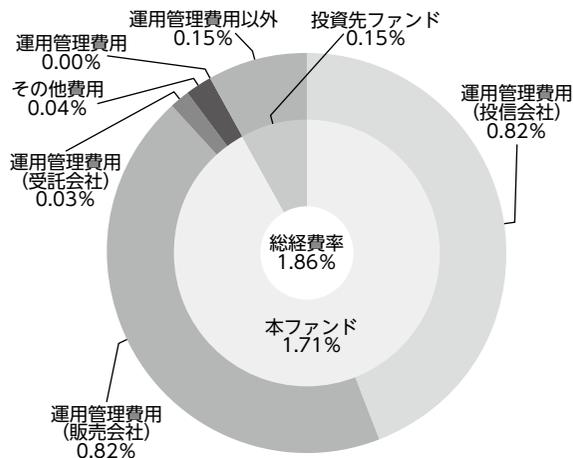
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



総経費率 (①+②+③)	1.86%
①本ファンドの費用の比率	1.71%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

項目	当期		項目の概要
	2023年7月25日～2024年1月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	75円 (37)	0.839% (0.412)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(37)	(0.412)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	3 (0)	0.031 (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(2)	(0.025)	
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	78	0.870	

期中の平均基準価額は8,889円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

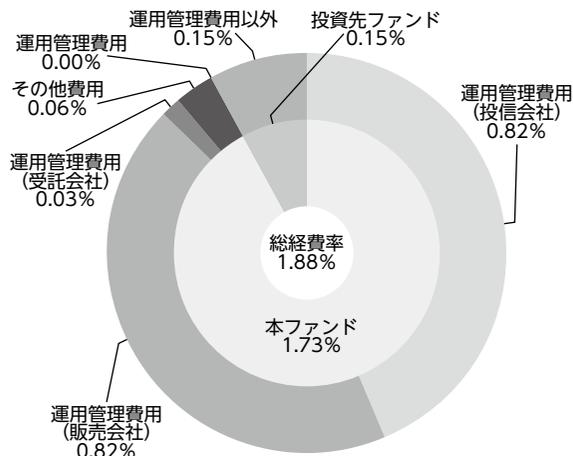
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①本ファンドの費用の比率	1.73%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2023年7月25日～2024年1月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	131円 (64)	0.839% (0.412)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(64)	(0.412)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	4 (0)	0.026 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(2)	(0.011)	
(その他)	(2)	(0.015)	
合計	135	0.865	

期中の平均基準価額は15,625円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

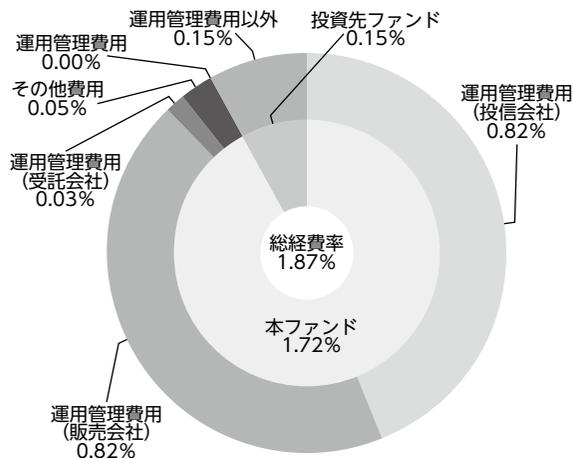
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①本ファンドの費用の比率	1.72%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

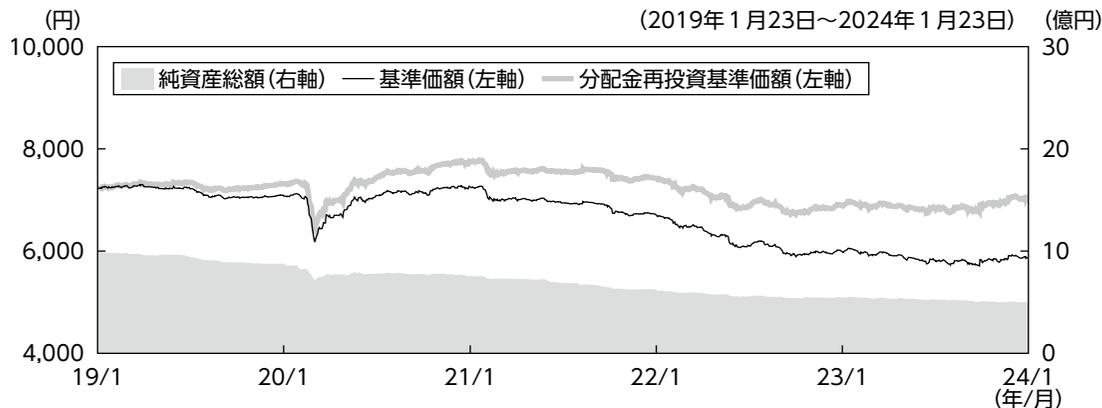
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

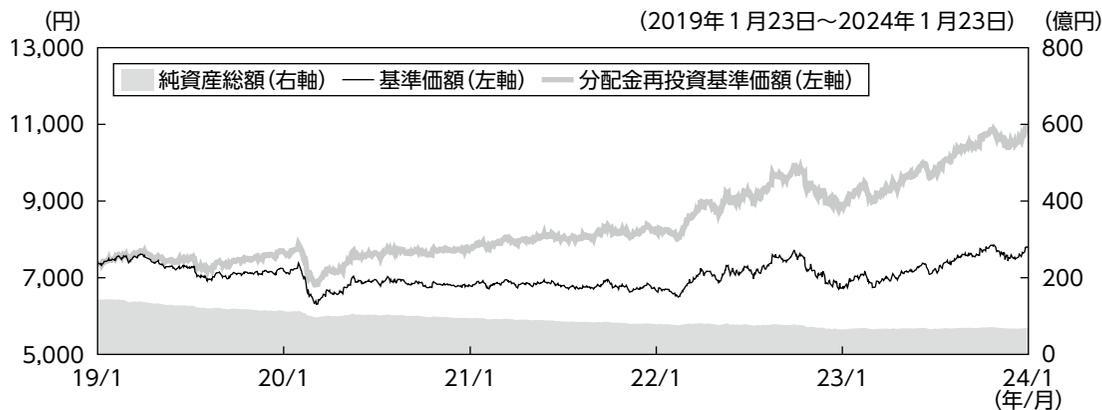
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）



○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）



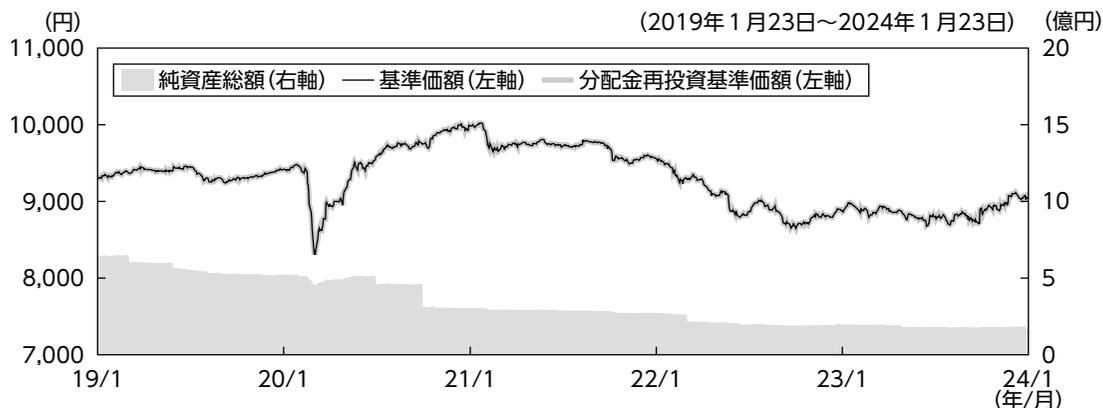
(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

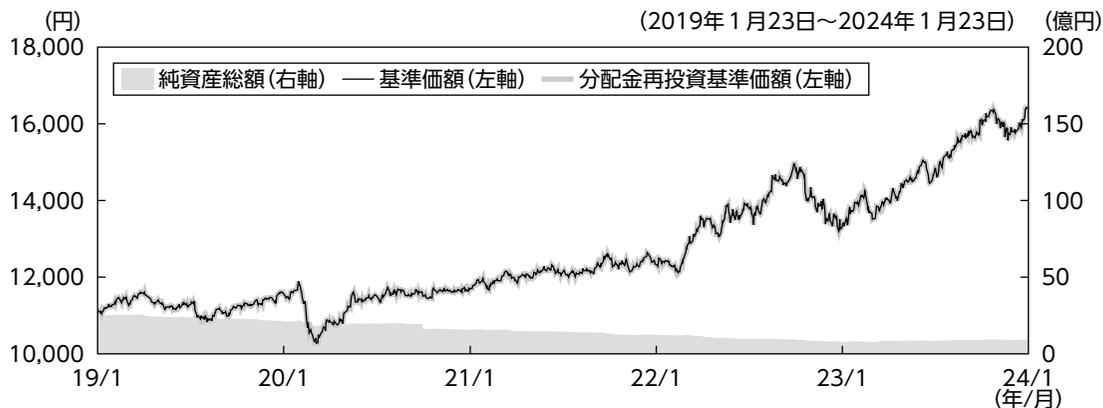
(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年1月23日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびBコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

○Cコース (年2回決算型、為替ヘッジあり)



○Dコース (年2回決算型、為替ヘッジなし)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年1月23日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) Cコース(年2回決算型、為替ヘッジあり)およびDコース(年2回決算型、為替ヘッジなし)の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

	2019/1/23 決算日	2020/1/23 決算日	2021/1/25 決算日	2022/1/24 決算日	2023/1/23 決算日	2024/1/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	7,214	7,077	7,241	6,695	5,985	5,857
期間分配金合計（税引前）（円）	－	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	－	1.4%	5.9%	－4.3%	－7.1%	2.0%
純資産総額（百万円）	994	873	756	622	546	500

○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

	2019/1/23 決算日	2020/1/23 決算日	2021/1/25 決算日	2022/1/24 決算日	2023/1/23 決算日	2024/1/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	7,344	7,176	6,775	6,645	6,722	7,767
期間分配金合計（税引前）（円）	－	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率	－	4.4%	1.3%	5.3%	8.2%	23.4%
純資産総額（百万円）	14,318	11,314	9,416	7,837	6,510	6,882

○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

	2019/1/23 決算日	2020/1/23 決算日	2021/1/25 決算日	2022/1/24 決算日	2023/1/23 決算日	2024/1/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	9,284	9,419	9,983	9,554	8,879	9,052
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	1.5%	6.0%	－4.3%	－7.1%	1.9%
純資産総額（百万円）	644	521	306	272	198	168

○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

	2019/1/23 決算日	2020/1/23 決算日	2021/1/25 決算日	2022/1/24 決算日	2023/1/23 決算日	2024/1/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	11,070	11,559	11,711	12,323	13,319	16,433
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	4.4%	1.3%	5.2%	8.1%	23.4%
純資産総額（百万円）	2,521	2,130	1,568	1,232	793	941

（注1）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

（注3）Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）、Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）、Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）、Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<外国債券市場>

当期、米国10年国債利回りが前期末から上昇（価格は下落）した一方で、ドイツ10年国債利回りは前期末から低下（価格は上昇）しました。

米国では、期中の中間にかけて、2023年4－6月期のGDP（国内総生産）成長率が事前予想を上回り、米国経済が底堅く推移していることが確認されたことや、エネルギー価格の上昇に伴うインフレ圧力などを背景に、国債の利回りは上昇傾向となりました。期末にかけては、発表された雇用関連統計やインフレ関連指標等に鑑み、FRB（米連邦準備制度理事会）による2024年中の利下げが意識されたことなどを背景に米国10年国債利回りが低下しましたが、前期末比では上昇する展開となりました。

一方、ユーロ圏では、発表された経済指標が好調だった局面や、インフレ指標が事前予想を上回った局面などで国債利回りが上昇しましたが、期末にかけて2024年以降の利下げが意識され利回りが急速に低下し、ドイツ10年国債利回りは前期末比で低下し期末を迎えました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。

米国経済の想定外の堅調さと、それに伴う米長期金利の上昇から米実質金利が一段と上昇したことが、円安米ドル高要因の一つとなりました。

ユーロについては、期中、インフレ抑制に向けてECB（欧州中央銀行）が利上げを継続したことから、日本との金融政策の違いによる金利差拡大が意識されたことなどを背景に、前期末比で円安ユーロ高となりました。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は前期末の5.1%から上昇し、期末には5.3%となりました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは期を通じて、ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオを概ね高位に組入れることにより、主に日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。また、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）は、外貨建て資産に対して為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざしました。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資）

ファンド名	騰落率 (米ドルベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ*1	5.7%	10.4%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド*2	2.8%	7.4%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. -ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ I X Oシェアクラス
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド Xアキュムレーションクラス

<ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ>

期首においては、セクター配分戦略でコーポレート・クレジットや証券化商品のオーバーウェイトを維持していました。国別配分戦略においては、オーストラリア、米国、英国のオーバーウェイトに対する欧州（ドイツ）、日本、ノルウェーなどのアンダーウェイトとしていました。デュレーション戦略では、米国や英国について金利デュレーションの長期化ポジションを構築しているものの、ポジションについては引き続き機動的に動かす方針としていました。また、通貨配分戦略ではユーロやスイス・フランなどについてオーバーウェイトポジションとしている一方、米ドルや英ポンドなどについてアンダーウェイトポジションとしていました。

期末においては、セクター配分戦略でコーポレート・クレジットや証券化商品のオーバーウェイトを維持しています。国別配分戦略においては、オーストラリア、米国、カナダのオーバーウェイトに対する欧州（ドイツ）、日本、英国などのアンダーウェイトとしています。デュレーション戦略では、米国について金利デュレーションの長期化ポジションを構築しているものの、ポジションについては引き続き機動的に動かす方針としています。また、通貨配分戦略では豪ドルやカナダ・ドルなどについてオーバーウェイトポジションとしている一方、英ポンドやニュージーランド・ドルなどについてアンダーウェイトポジションとしています。

当期においては、国債/金利スワップ戦略における米国や欧州（ドイツ）の国債の個別銘柄選択、セクター配分戦略におけるCLOやコーポレート・クレジットのオーバーウェイト、国別配分戦略における英国のオーバーウェイトに対する欧州（ドイツ）や米国のアンダーウェイトなどが主なプラス寄与となりました。一方で、コーポレート・クレジット戦略においては、ハイ・イールド社債の産業セクターの銘柄選択などがマイナス寄与となりました。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）は、第118期から第123期は各20円としました。Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）は、第118期から第123期は各40円としました。また、Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）およびDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）は第21期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2023年7月25日 ~2023年8月23日	2023年8月24日 ~2023年9月25日	2023年9月26日 ~2023年10月23日	2023年10月24日 ~2023年11月24日	2023年11月25日 ~2023年12月25日	2023年12月26日 ~2024年1月23日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.348	0.345	0.342	0.344	0.337	0.340
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	5,299	5,349	5,402	5,450	5,502	5,558

○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2023年7月25日 ~2023年8月23日	2023年8月24日 ~2023年9月25日	2023年9月26日 ~2023年10月23日	2023年10月24日 ~2023年11月24日	2023年11月25日 ~2023年12月25日	2023年12月26日 ~2024年1月23日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.541	0.525	0.515	0.516	0.530	0.512
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,899	4,957	5,016	5,069	5,121	5,185

○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第21期
	2023年7月25日～2024年1月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,454

○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第21期
	2023年7月25日～2024年1月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,316

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオの組入れを高位に保つことによって、主に日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。また、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）は、外貨建て資産に対して為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ>

足元のグローバル経済について、インフレが鈍化していること等を背景に、引き続きソフト・ランディングへの期待が高まっているものの、今後の不確実性は依然燻っているとみており、急激な成長鈍化が見られる局面にも配慮したバランスの取れたポートフォリオ構築に注力する必要があると考えています。米国経済について、賃金の上昇が鈍化していること、サプライチェーンが改善していること等を背景に、インフレ率の更なる低下を見込んでいること等が景気の下支え要因になると考えています。一方で、金融環境の逼迫化が継続しており、家計の圧迫から消費支出が減退するリスク等が想定されることから、景気が想定以上に悪化するリスク・シナリオも検討しつつ動向を注視しています。金融政策について、2024年1月30-31日に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）においては、事前予想通り政策金利の据え置きが決定されました。FOMC後の記者会見で、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長はインフレの動向を見極めるにはなお時間を要するとの見解を示し、市場の早期利下げ観測を牽制する形となりました。利下げの具体的なタイミングやペースについては不確実性が高いと考えているものの、利下げの開始は少なくとも2024年6月以降になるとみています。

投資戦略の観点では、金利戦略に関しては各国の金融政策に乖離が見られることから、レラティブ・バリュー（相対価値）の投資機会が増えると考えています。非国債セクターではコーポレート・クレジットに関して、企業業績が好調であること等を背景にオーバーウェイトを継続していますが、市場のボラティリティが高まる局面も想定し、ヘッジ目的で米金利のオーバーウェイトポジションを合わせて保有しています。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

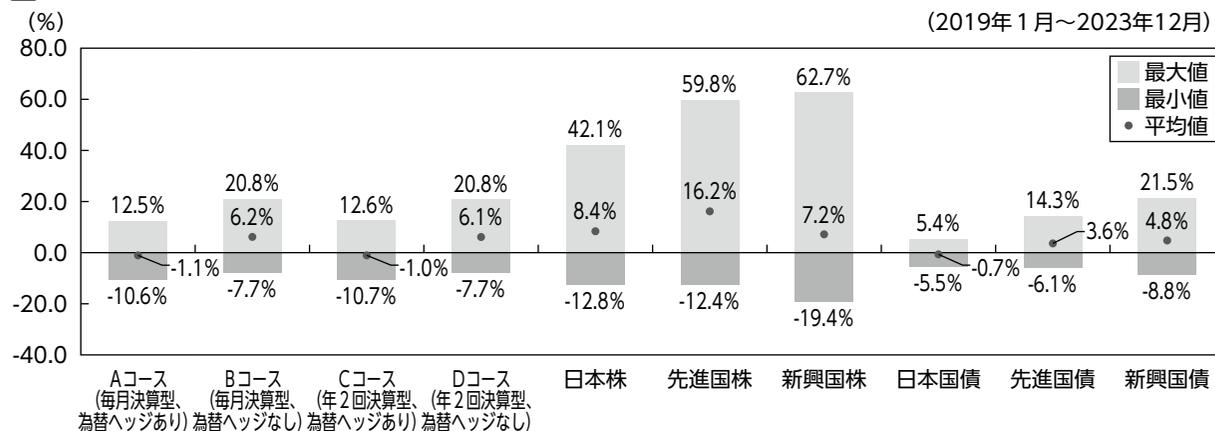
（上記見通しは2024年1月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2029年1月23日まで
運用方針	日本および新興国を含む世界の、政府および政府機関が発行する債券、社債、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本および新興国を含む世界の、国債、政府系機関債、国際機関債、社債、エマージング市場債券、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ②外貨建資産については、Aコース・Cコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコース・Dコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（Aコース・Bコースは毎月23日、Cコース・Dコースは毎年1月23日および7月23日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年1月から2023年12月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2024年1月23日現在)

< Aコース (毎月決算型、為替ヘッジあり) >

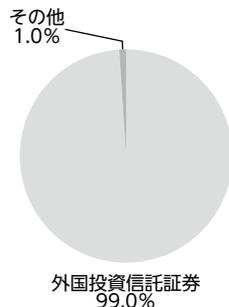
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

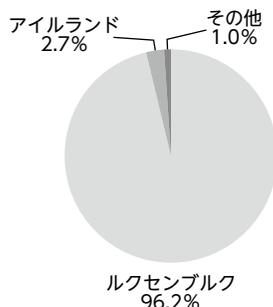
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ	96.2%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

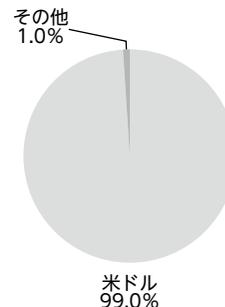
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てAコース (毎月決算型、為替ヘッジあり) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

< Bコース (毎月決算型、為替ヘッジなし) >

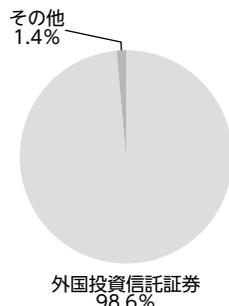
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

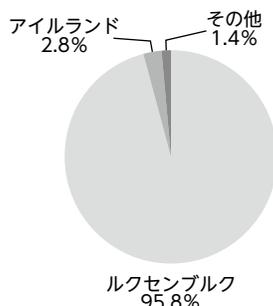
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ	95.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

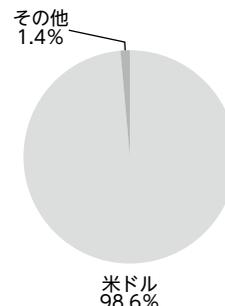
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てBコース (毎月決算型、為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

<Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）>

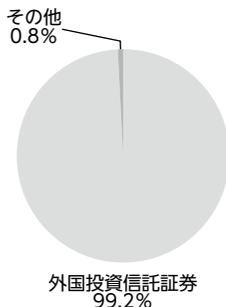
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

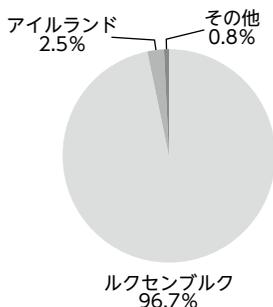
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ	96.7%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

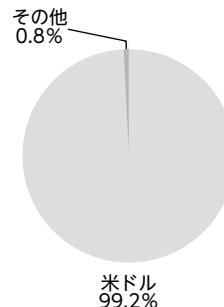
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

（注3）通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

<Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）>

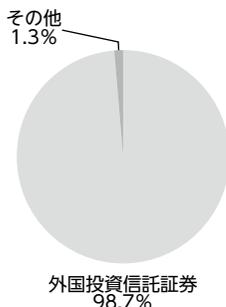
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

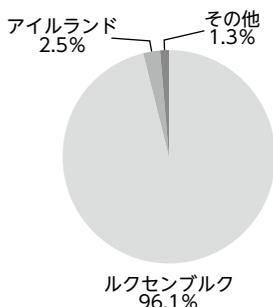
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ	96.1%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

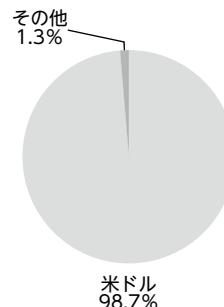
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全てDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

（注3）通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

項目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
	2023年8月23日	2023年9月25日	2023年10月23日	2023年11月24日	2023年12月25日	2024年1月23日
純資産総額	516,723,040円	515,508,651円	511,482,862円	500,035,605円	505,675,059円	500,515,724円
受益権総口数	902,625,292口	891,675,928口	877,946,638口	863,076,202口	855,913,829口	854,541,120口
1万口当たり基準価額	5,725円	5,781円	5,826円	5,794円	5,908円	5,857円

(注) 当作成期首元本額は903,087,426円、当作成期間（第118期～第123期）中において、追加設定元本額は12,525,789円、同解約元本額は61,072,095円です。

○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

項目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
	2023年8月23日	2023年9月25日	2023年10月23日	2023年11月24日	2023年12月25日	2024年1月23日
純資産総額	6,708,849,536円	6,904,108,711円	6,995,456,368円	6,964,402,864円	6,705,968,074円	6,882,101,030円
受益権総口数	9,130,876,657口	9,103,541,498口	9,044,896,641口	9,039,013,466口	8,938,314,077口	8,860,976,611口
1万口当たり基準価額	7,347円	7,584円	7,734円	7,705円	7,502円	7,767円

(注) 当作成期首元本額は9,282,405,510円、当作成期間（第118期～第123期）中において、追加設定元本額は254,164,258円、同解約元本額は675,593,157円です。

○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

項目	第21期末
	2024年1月23日
純資産総額	168,112,776円
受益権総口数	185,716,945口
1万口当たり基準価額	9,052円

(注) 期首元本額は206,216,503円、当作成期間中において、追加設定元本額は4,077,419円、同解約元本額は24,576,977円です。

○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

項目	第21期末
	2024年1月23日
純資産総額	941,197,272円
受益権総口数	572,742,923口
1万口当たり基準価額	16,433円

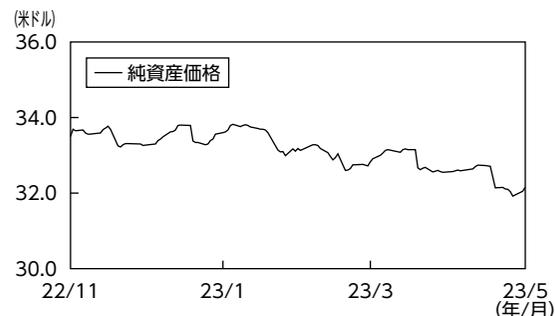
(注) 期首元本額は581,339,511円、当作成期間中において、追加設定元本額は37,505,670円、同解約元本額は46,102,258円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバル・ダイナミック・ボンド・プラス・ポートフォリオ> (2023年5月31日現在)

* 2024年1月23日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年5月31日)



* I X O シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2023年5月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	3
投資顧問報酬	891,333
保管費用	194,728
管理事務代行報酬	94,735
販売報酬およびサービシング報酬	43,513
名義善換事務代行報酬	57,616
年次税	41,141
監査報酬	10,301
管理会社報酬	35,225
取締役報酬	1,917
弁護士報酬	7,368
保険費用	6,776
印刷費用	13,254
出版費用	4,756
税務報告報酬	14,586
支払代理人報酬	7,317
規制報告報酬	29,279
その他費用	34,961
	<hr/>
	1,488,809
投資顧問報酬調整額	(77,991)
費用合計	<hr/>
	1,410,818

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

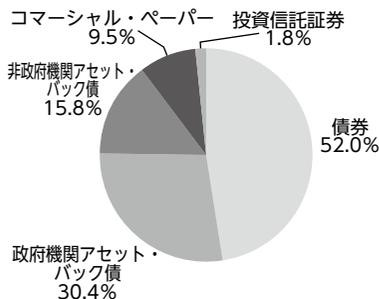
銘柄	種類	通貨	比率 (%)
1 Japan Treasury Discount Bill—Series 1141	債券	日本円	7.2
2 Government National Mortgage Association (GNMA) TBA	政府機関 アセット・バック債	米ドル	6.7
3 Japan Treasury Discount Bill—Series 1146	債券	日本円	6.6
4 Government National Mortgage Association (GNMA) TBA	政府機関 アセット・バック債	米ドル	4.1
5 France Treasury Bill BTF	債券	ユーロ	4.0
6 Japan Treasury Discount Bill—Series 1154	債券	日本円	3.9

(組入銘柄数: 350銘柄)

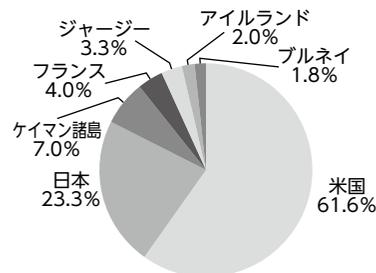
銘柄	種類	通貨	比率 (%)
7 Japan Treasury Discount Bill—Series 1147	債券	日本円	2.9
8 Japan Treasury Discount Bill—Series 1142	債券	日本円	2.7
9 Government National Mortgage Association (GNMA) TBA	政府機関 アセット・バック債	米ドル	2.4
10 Government National Mortgage Association (GNMA) TBA	政府機関 アセット・バック債	米ドル	2.2

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

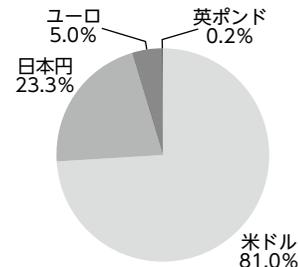
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

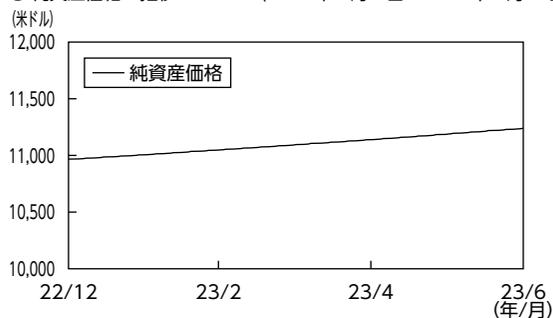
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年6月30日現在)

* 2024年1月23日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年6月30日)



* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2023年6月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	42,361,347
管理会社報酬	2,176,932
管理事務代行報酬	698,330
保管費用	908,770
販売報酬	1,654,750
名義書換事務代行報酬	280,520
監査報酬	8,151
取締役報酬	6,047
弁護士報酬	20,925
保険費用	82,131
印刷費用	16,472
その他費用	264,444
費用合計	48,478,819
投資顧問報酬調整額	(4,384,235)
運用費用合計	44,094,584

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

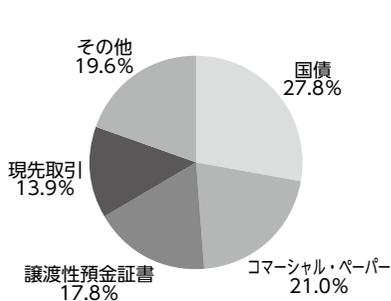
順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	5.2%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.1%
4	United States Treasury Bill	国債	3.0%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	1.9%

(組入銘柄数: 174銘柄)

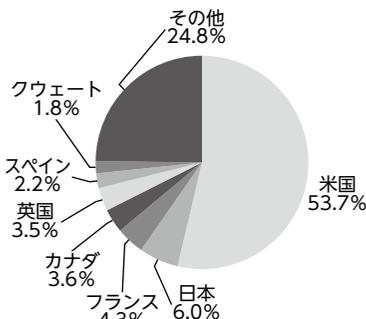
順位	銘柄	種別	比率
7	National Bank of Kuwait	譲渡性預金証書	1.8%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	United States Treasury Bill	国債	1.7%
10	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

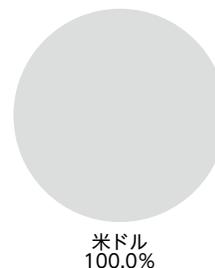
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。